

柿ヶ成川 通常砂防事業

(宮津市喜多)

柿ヶ成川は、流域の荒廃が著しく、ひとたび土砂災害が発生すれば甚大な被害が発生するおそれがあるため、砂防堰堤等を設置することにより、生命・財産を守る必要があります。

平成10年度から行ってきた既設砂防堰堤の嵩上工事が平成16年度に完成し、平成16年の台風23号では土石流を止めて下流の人家等への被害を食い止め大変大きな事業効果が発現されたところであり、引き続き昨年度から上流部の堰堤の計画を進めています。

平成18年度は、砂防堰堤の施工に必要な工事用進入路に着手するとともに用地買収を行う予定です。

◎ 事業概要

全体計画		⑰当初までの実績		⑱当初計画
⑩～ 本體工(嵩上工) 本體工(新設)	1基 1基	本體工(嵩上工) 詳細設計	1基	工事用進入路 用地買収
事業費 6億円		事業費 4億300万円		事業費 2,500万円

◎ 事業効果

平成16年台風23号により発生した山腹崩壊や溪床浸食状況等を考慮し、土砂災害を未然に防ぐ対策を進めていきます。



下流堰堤嵩上工事完了直後の台風23号による土石流

平成17年度施工(除石工)



上流堰堤付近の土石流発生状況

